

EA604FE-11
(ブリーダー&レンチキット)

- 自動車のブレーキ液交換及び配管内のエア抜き作業
- 軽自動車から小型トラック(2t)まで

本製品は、自動車のブレーキ液の交換及び配管内のエア抜き作業に使用するレンチセットです。

取扱上の注意







- 注意**
- ブレーキの作業手順は、各自動車メーカーの整備指示書等に基づき正しく行って下さい。
 - ブレーキ液の交換及び配管内のエア抜き作業以外には使用しないで下さい。
 - 製品又は、作業対象部品に亀裂、変形等が認められる場合は使用しないで下さい。
 - ホースを強く引っ張らないで下さい。
 - 破損の原因となりますので、衝撃を加える、ホースを持って引きずる等の行為をしないで下さい。
 - ブレーキ液がこぼれた場合は、布等で早く拭き取り水洗いして下さい。
 - 分解や改造はしないで下さい。

適応

- 軽自動車～小型トラック(2tクラス)に使用されている8mm、10mmのブリーダープラグ。

入組内容

品名	形状	数量
フルードキャッチタンク		1

品名	形状	数量
フルード吸入器		1
ブリーダープラグ用のめがねレンチ 8mm		1
ブリーダープラグ用のめがねレンチ 10mm		1

作業方法

- 作業部位のブリーダープラグのゴムキャップを取外し、ブリーダープラグ用のめがねレンチをセットします。(図1)
 (注) ブリーダープラグ用のめがねレンチは、ストッパー部分がブリーダープラグの内角部に当たるまで挿入されているか、確認して下さい。取付けが不十分ですと、回した時に滑る恐れがあります。
- ブリーダープラグ用のめがねレンチをセットした状態でフルードキャッチタンクのホースを、ブリーダープラグに取付けます。(図2)
 (注) ホースがブリーダープラグに確実に取付られているか、確認して下さい。
 (注) フルードキャッチタンクは床面に置くか、フック部を使って吊るす等を行い、ホースが引っ張られない程度で使用して下さい。
- ブレーキ配管内に圧力を掛けた状態で、ブリーダープラグを回し、ブレーキ液の交換及びエア抜き作業を行って下さい。
 (注) ブリーダープラグ用のめがねレンチを回すと、ホースが供回りして外れる場合がありますので、ホースを持って作業を行って下さい。
 (注) 作業中にブレーキ液がこぼれる場合は、ブリーダープラグ用のめがねレンチ及びホースの取付けをやり直して下さい。
 (注) フルードキャッチタンク内の液量が、空の状態で使用して下さい。
- 作業終了時はフルードキャッチタンクのホース、ブリーダープラグ用のめがねレンチを取外し、ブリーダープラグを各車種規定のトルクで締付けて、ブリーダープラグのゴムキャップを取付けて下さい。



フルード吸入器の使用法 (リザーバタンク内のブレーキ液の吸い取りに使用します)

- リザーバタンクのキャップ、ストレーナー等を取外します。
- フルード吸入器の先端をリザーバタンク内に挿入し、ピストン部を引き上げ、ブレーキ液を吸い取って下さい。1ストロークで吸い取れる容量は50ccです。(図3)
 (注) 吸い取りの際、勢い余ってフルード吸入器本体からピストン部が外れないようにして下さい。
 (注) 吸い取ったブレーキ液は、所定の場所へ処分して下さい。



保守・保管

- フルードキャッチタンク内のブレーキ液及びホース内のブレーキ液は処分してから保管して下さい
- フルードキャッチタンクのホース先端は、キャップ上部のプラグ部へ差込んで保管して下さい。
- 製品各部は、きれいな布で汚れを拭き取り保管して下さい。